

変苦慮されていると聞いている。現在、「ふらっと」に1カ所、協会病院に4カ所、緑峰高校に1カ所、保健所に建設中。平成20年度に、総合保健センターの1階多目的トイレへの設置と、ワイン工場内のトイレに洗浄水栓方式の対応トイレを設置する予定。



オストメイト対応トイレ(ふらっと)

不要入れ歯リサイクルは

問 不要の入れ歯を回収し金属部分を換金、収益をユニセフと回収に協力した社協に還元される寄付事業は、本市の人口に当てはめた資料を送付してもらった。歯にかけるパネがついた入れ歯は、ぐらつきサイズがあわなくなると不要になる。リサイクルによ

て、一つの入れ歯で2500円程度の収入を得られるとある。ゴミ分別引きの分別辞典では、入れ歯は固形ゴミとなっているが、エコロジーの面でも貢献できるのでは。資源のリサイクルにつながり、世界の恵まれない子供達に役立ち、社協の新たな財源開拓にもなる。道内で設置されている自治体はなかったが、今後は、滝川市、足寄町が設置予定。社会福祉事業として、不要入れ歯回収ボックスを設置してはどうか。

答 固形燃料ゴミとして分別収集しており、入れ歯に付属している金属類については、燃料製造過程において除去している。入れ歯回収ボックス設置リサイクルは、本市としてなじまないものと判断。

覚幸 伸夫

〔民主クラブ〕

固形燃料の利用

問 燃えるゴミ(RDF)の固形燃料を平成7年から市の公共施設へ暖房用燃料として

供給されていたが、ダイオキシ基準値は厳しく制限された。現在では、その基準に対応されたストーブが開発されており、推進の考えは。

答 本市は市民生活の燃えるゴミを公共施設に暖房用燃料として利用したが、大気汚染防止法の改正により平成15年から製紙会社に燃料として供給されている。



期待されるリサイクルセンター

木質バイオマスは

問 2008年度から北海道森林整備事業が10カ年の方針が決まり、その施策により、森林を有効利用ができ、地域の燃料として森林の木屑、枝葉などの木質バイオマスの活

介護老人福祉施設の増設を

問 市内の養護老人施設は少なく、常時100人以上の待機状況であり、止む得ず、住み慣れた町から離れ管外の施設に移り住む方もおられ、施設整備の考えはないか。

答 介護保険法に基づき、現在は、地域で8施設あり、現在、入所申込者145名で特別養護老人ホームに多くの待機者がいる状況である。入所判定は、国の基準による今後の介護基盤整備は、平成23年度末までに廃止する療養型病床の転換動向を勘案しながら整備計画を策定する。

地域密着型サービスは

問 小規模多機能型居宅介護施設は、通いを中心として訪問や泊りを組み合わせた施設で中度、重度の要介護でも在宅で生活が継続できるように支援するもので、在宅が基本で

認知症も利用できると聞いている。これらの居宅介護施設の考えはないか。

答 地域密着型サービスは、制度改正に伴い、新たなサービス体系として推進している現在、本市では認知症の施設2種類があり、居宅介護施設は、今後においては民間活力を活かしての整備を進める。

広瀬 寛人

〔無所属〕

指定管理者の運営管理に関する評価制度は

問 本年は、スポーツセンターや健康増進施設「ふらっと」など、市民に身近な施設も指定管理者制度が導入されたが運営管理に関する評価制度はあるのか。

答 当該施設を所管する担当課が検証しているが、現段階では管理運営を評価する仕組みを持っていない。公の施設の設置者としての説明責任を果たすため、評価制度のありかたを検討して行きたいと考える。